



ジャズの音色、響き渡る。

■表紙の写真

3月1日(日)藤樹の里文化芸術会館で、ひな祭りジャズコンサートが開催され、高島市民ジャズオーケストラ・ビッグベルが出演しました。「ビッグベル」は、市教育委員会のぶんげいアカデミーの受講生が結成したバンドで、コンサートは今回が4回目。初コンサートでは3曲だったレパートリーも今回は8曲。「ルパン三世のテーマ曲」のほか、「セント・ルイス・ブルース」や「イン・ザ・ムード」などを披露しました。聞き覚えのある曲に、会場を埋め尽くした観客からは、手拍子や歓声が送られ、出演者と観客が一体となった、楽しいステージとなりました。

- 2・3 西川喜代治新市長就任インタビュー
- 4・5 お知らせ拡大版
- 6・7 タウンピククス
- 8・9 みんなで子育て、親育ち！
地域で子育て、親育て！
- 10 いきいき元気生活
- 11 防災・消防情報
- 12・13 情報お知らせ版
- 14 警察・交通事故発生状況・消費生活相談
- 15 文化情報
- 16 人権を考える

広報たかしま
(平成21年3月15日号)

第87号

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒500-0802 滋賀県高島市新旭町北畑505番地 ☎0740(25)8130

http://www.city.takashima.shiga.jp
E-mail: info@city.takashima.shiga.jp

シリーズ 人権を考える 最終回

人権を 大切にするために

【さまざまな人権】

■現代の人権課題

2000年(平成12年)に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が施行されました。この法律に基づき、国は「人権教育のための国連10年」国内行動計画を2002年(平成14年)3月に公表しています。

基本計画では「女性」「子ども」「高齢者」「障害者」「同和問題」「アイヌの人々」「外国人」「患者」「刑を終えて出所した人」「犯罪被害者」「インターネット」「あらゆる人の人権」の12分野の人権課題を取り上げています。あらゆる人の人権には、例えばホームレスの人の人権、自分の性別に違和感を持ち受け入れられない性別同一性障害の人の人権や、北朝鮮当局による人権侵害問題等が含まれます。ほかに、「環境権」といわれ、豊かな自然環境を守ることが、子孫



に、「環境権」といわれ、豊かな自然環境を守ることが、子孫

に人間らしい暮らしを引き継ぐことになり、生きる権利、つまり人権を尊重することにつながります。環境権の主張は生命と健康を守る当然の権利です。これらも社会の変化とともに新たな人権問題が生じ表面化してくることが考えられます。これら、どの課題もすべて重要な人権課題です。



しかし、現代社会においては、子どもや高齢者へのいじめや虐待、ホームレスの人への暴行事件、女性に対する性的嫌がらせ等、さまざまな人権侵害が発生し、まだまだ人権が尊重されている社会とは言えません。

■日本固有の人権問題

なかでも、日本固有の人権問題である同和問題については、基本的な人権に関わる重大な問題として、これ

■一人ひとりの人権

だれもがこの世にただ一人しかいない、かけがいのない存在です。自分のことを大切に思う気持ちは、他の人のことも大切にしようとする気持ちにつながるのではないのでしょうか。また、私たちは日常生活なかで、古い因習や習俗、世間体など、古くからの集まりであり、世間体として同和融和ということばから生まれた名称です。部落とは本来「集落」のことです。差別とは差をつけて区別すること、特定の人びとに対して不当な扱いをすることを意味します。同和問題については、これまで多くの研究者により、過去の文献等さまざまな資料から研究が進められ、今日では部落問題の起源や歴史的背景などが解き明かされています。同和問題は、日本の歴史の過程で政治的につくられた人権問題です。同和地区の人びとが差別を受ける理由はありません。人は生まれる場所を自分で選ぶことはできません。同じ人間でありながら、あるところに生まれただけで差別を受ける人がいる。一方で生まれた場所によっては尊いと言われる人もいます。これは不合理なことであり、おかしいことではないのでしょうか。

まで様々な運動や取り組みが行われ、この問題に対する理解、認識は徐々に高まっているといわれていますが、未だに結婚問題を中心に差別事象が発生するなど課題が残されています。同和問題は部落差別問題ともいわれます。同和とは、国民の融和を目的として同和融和ということばから生まれた名称です。部落とは本来「集落」のことです。差別とは差をつけて区別すること、特定の人びとに対して不当な扱いをすることを意味します。同和問題については、これまで多くの研究者により、過去の文献等さまざまな資料から研究が進められ、今日では部落問題の起源や歴史的背景などが解き明かされています。同和問題は、日本の歴史の過程で政治的につくられた人権問題です。同和地区の人びとが差別を受ける理由はありません。人は生まれる場所を自分で選ぶことはできません。同じ人間でありながら、あるところに生まれただけで差別を受ける人がいる。一方で生まれた場所によっては尊いと言われる人もいます。これは不合理なことであり、おかしいことではないのでしょうか。

市では第1回人権施策推進審議会を昨年11月に開催し、審議会委員の皆さんから貴重なご意見をいただき、市の行政施策に活かせるよう努めています。これからも、市民の皆さんをはじめ、関係機関の方々からご意見をいただき、人権の実現を目指し人権施策を推進します。今後とも、皆さんのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



高島市人権施策課
☎(25)8524
☎(25)8102